

ことわざの意味と使い方

名前 _____

図解でわかる ことわざの基本

問1 説明を読んで答えなさい。

【ことわざとは】昔から言い伝えられてきた短い言葉で、生活の知恵や教訓などを表します。ことわざについて正しい説明を選びなさい。

ア いつも文字どおりの意味だけを表す イ 短い言葉で知恵や教訓などを表す ウ 人の名前だけを表す

解答：イ

ことわざは、短い言葉の中に生活の知恵や教訓などを表したものです。

文字どおりの意味と本当の意味

問2 ことわざの意味を選びなさい。

【表現→本当の意味】「塵も積もれば山となる」は、小さなものでも積み重なれば大きなものになることを表します。最も近い意味を選びなさい。

ア 小さな努力でも続けければ大きな成果につながる イ 大きな仕事は一度に終わらせるべきだ ウ 小さなものは役に立たない

解答：ア

「塵」は小さなもののたとえで、少しずつの積み重ねが大きな結果につながることを表します。

ことわざと使う場面

問3 場面に合うものを選びなさい。

【ことわざ→意味→使う場面】「急がば回れ」は、急いでいるときほど安全で確実な方法を選ぶ方がよいという意味です。このことわざに合う場面はどれですか。

ア 遅刻しそうなので危険な近道を走る イ 急いでいるが安全な道を通って駅へ向かう ウ 時間があるので遠回りして散歩する

解答：イ

急いでいるときに危険な近道を避け、確実な方法を選ぶ場面が当てはまります。

基本チェック

問4 使い方として最も適切なものを選びなさい。

「石の上にも三年」の使い方として最も適切なものはどれですか。

ア 部活動を始めたばかりで上達しないが、すぐにやめず練習を続ける イ 石でできたベンチに三年間座り続ける

ウ 三年間使った道具を新しいものに買い替える

解答：ア

「石の上にも三年」は、つらくても辛抱強く続ければ成果につながるという意味です。

ことわざの意味を確かめよう

名前 _____

意味を選ぼう

問1 最も近い意味を選びなさい。

「猿も木から落ちる」の意味として正しいものはどれですか。

ア 得意な人でも失敗することがある イ 苦手なことには挑戦しない方がよい ウ 高い場所では必ず失敗する

解答：ア

どんなに得意な人でも、ときには失敗することがあるという意味です。

問2 最も近い意味を選びなさい。

「百聞は一見にしかず」の意味として正しいものはどれですか。

ア 多くの人から話を聞けば必ず正しい イ 何度聞くよりも実際に一度見る方がよく分かる ウ 見たことは人に話してはいけない

解答：イ

人から何度も聞くより、自分の目で実際に見る方が確かだという意味です。

問3 最も近い意味を選びなさい。

「二兎を追う者は一兎をも得ず」の意味として正しいものはどれですか。

ア 二つのことを同時に得ようとすると、どちらも失うことがある イ 二つの目標は必ず同時に達成できる

ウ 一つの目標だけでは成長できない

解答：ア

欲張って二つを同時に得ようとすると、結局どちらも得られないことがあるという意味です。

問4 最も近い意味を選びなさい。

「灯台下暗し」の意味として正しいものはどれですか。

ア 夜は明るい場所でも見えにくい イ 身近なことほど気づきにくいことがある ウ 遠くのことは絶対に分からない

解答：イ

自分のすぐ近くにあることほど、かえって気づきにくいという意味です。

意味を見分けよう

問5 最も近い意味を選びなさい。

「口は災いの元」の意味として正しいものはどれですか。

ア 不用意な発言が思わぬ問題を起こすことがある イ 大きな声で話せば問題を解決できる ウ 話をしなければ友達が増える

解答：ア

軽率な発言が災いを招くことがあるため、言葉には注意すべきだという意味です。

問6 最も近い意味を選びなさい。

「三人寄れば文殊の知恵」の意味として正しいものはどれですか。

ア 三人集まると必ず意見が対立する イ 普通の人でも力を合わせて考えればよい知恵が出る ウ 一人で考える方がよい答えが出る

解答：イ

複数の人が知恵を出し合えば、よい考えが生まれるという意味です。

問7 最も近い意味を選びなさい。

「早起きは三文の徳」の意味として正しいものはどれですか。

ア 早く起きると何かしらよいことがある イ 朝は必ずお金をもらえる ウ 夜遅くまで起きている方が得をする

解答：ア

早起きをすると、何かしらの利益やよいことがあるという意味です。

問8 最も近い意味を選びなさい。

「案ずるより産むが易し」の意味として正しいものはどれですか。

ア 心配していたことも、実際にやってみると意外に簡単なことがある イ 十分に心配してからでなければ行動してはいけない

ウ 難しいことは考えずにあきらめた方がよい

解答：ア

始める前に心配しすぎても、実際にやってみると意外にたやすいことがあるという意味です。

場面に合うことわざを選ぼう

名前 _____

場面に合うものを選ぼう

問1 場面に合うことわざを選びなさい。

旅行の前日に慌てないよう、必要な持ち物を数日前から確認して準備した。この場面に最も合うものはどれですか。

ア 備えあれば憂いなし イ 猫に小判 ウ 馬の耳に念仏

解答：ア

前もって準備しておけば、いざというときに心配が少ないという場面です。

問2 場面に合うことわざを選びなさい。

図書委員の企画を思いついた美咲さんは、よい案だと思ったのでその日のうちに先生へ相談した。この場面に最も合うものはどれですか。

ア 善は急げ イ 後悔先に立たず ウ 灯台下暗し

解答：ア

よいと思ったことは、ためらわず早く実行するのがよいという場面です。

問3 場面に合うことわざを選びなさい。

けんかをした二人が話し合った結果、以前よりも互いの考えを理解できるようになった。この場面に最も合うものはどれですか。

ア 雨降って地固まる イ 二兎を追う者は一兎をも得ず ウ 口は災いの元

解答：ア

もめ事のあとに、以前よりよい関係になることを表します。

問4 場面に合うことわざを選びなさい。

高級な絵の具を、絵を描かず絵の具の価値も分からない人へ贈ったが、ありがたみが伝わらなかった。この場面に最も合うものはどれですか。

ア 猫に小判 イ 百聞は一見にしかず ウ 三人寄れば文殊の知恵

解答：ア

価値の分からない相手に貴重なものを与えても、そのありがたみが伝わらないことを表します。

文にことわざを入れよう

問5 空欄に最も合うことわざを選びなさい。

何度注意しても弟は聞き流してしまう。これでは「_____」だ。

ア 馬の耳に念仏 イ 善は急げ ウ 早起きは三文の徳

解答：馬の耳に念仏

何を言って聞かせても、相手が聞こうとせず効果がない場合に使います。

問6 空欄に最も合うことわざを選びなさい。

父は旅行先を決めるとき、交通手段や宿泊先を何度も確認してから予約した。まさに「_____」という慎重さだ。

ア 石橋をたたいて渡る イ 雨降って地固まる ウ 猿も木から落ちる

解答：石橋をたたいて渡る

十分に安全を確かめてから行動する慎重な様子を表します。

問7 空欄に最も合うことわざを選びなさい。

転校先では、まずその学校の決まりや習慣に合わせて行動した。「_____」という考え方だ。

ア 郷に入っては郷に従え イ 灯台下暗し ウ 猫に小判

解答：郷に入っては郷に従え

新しい土地や集団では、そこでの習慣や決まりに従うのがよいという意味です。

問8 空欄に最も合うことわざを選びなさい。

提出期限を過ぎてから、もっと早く始めればよかったと思っても遅い。「_____」である。

ア 後悔先に立たず イ 善は急げ ウ 三人寄れば文殊の知恵

解答：後悔先に立たず

終わってしまったことを後から悔やんでも取り返せないという意味です。

ことわざを使いこなそう

名前 _____

使い方を見分けよう

問1 使い方として適切なものを選びなさい。

「情けは人のためならず」の使い方として最も適切なものはどれですか。

ア 困っている友達を助ければ、その親切が巡って自分にもよい形で返ってくるかもしれない

イ 友達を助けると本人のためにならないので放っておこう ウ 親切にすると必ず相手からお金をもらえる

解答：ア

人への親切は巡り巡って自分のためにもなるという意味です。「人のためにならない」という意味ではありません。

問2 使い方として適切なものを選びなさい。

「捕らぬ狸の皮算用」の使い方として最も適切なものはどれですか。

ア まだ大会で入賞していないのに、賞金の使い道を先に決めている イ 大会に備えて毎日練習を続けている

ウ 買い物の前に予算を計算している

解答：ア

まだ手に入れていない利益を当てにして計画を立てることを表します。

問3 使い方として適切なものを選びなさい。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」の使い方として最も適切なものはどれですか。

ア テスト直前には反省したのに、終わるとまた勉強を後回しにしてしまった イ 熱いスープを冷ましてから飲んだ

ウ 苦しい経験を忘れず、毎日同じ努力を続けた

解答：ア

苦しいことが過ぎると、その苦しさや教訓を忘れてしまうことを表します。

似た意味を比べよう

問4 二つのことわざの関係として最も適切なものを選びなさい。

「転ばぬ先の杖」と「備えあれば憂いなし」に共通する考えはどれですか。

ア 問題が起こる前に準備しておくことが大切だ イ 失敗した後はすぐ忘れた方がよい ウ 何事も一人で解決すべきだ

解答：ア

どちらも、困る前に準備や用心をしておくことの大切さを表します。

問5 二つのことわざの違いとして最も適切なものを選びなさい。

「千里の道も一歩から」と「塵も積もれば山となる」の説明として正しいものはどれですか。

ア 前者は大きな目標も最初の一歩から始まること、後者は小さな積み重ねが大きな結果になることを表す

イ 前者は急いで行動すること、後者は慎重に行動することを表す ウ どちらも失敗を気にしないことを表す

解答：ア

どちらも積み重ねに関係しますが、前者は大きな目標の始まり、後者は小さなものの蓄積に重点があります。

文脈から判断しよう

問6 場面に最も合うことわざを選びなさい。

初めて使う編集ソフトの操作を説明書だけで覚えようとしていたが、実際に何度も操作するうちに自然と使えるようになった。

ア 習うより慣れろ イ 口は災いの元 ウ 猫に小判

解答：ア

説明を受けるだけでなく、実際に経験を重ねることが上達につながるという意味です。

問7 場面に最も合うことわざを選びなさい。

この収納棚は、机の上に置くには大きすぎるが、床に置いて本棚として使うには小さすぎる。どちらの使い方にも適していなかった。

ア 帯に短したすきに長し イ 善は急げ ウ 雨降って地固まる

解答：ア

一つの物が、使い道によって大きすぎたり小さすぎたりして、どちらにも適さないことを表します。

問8 場面に最も合うことわざを選びなさい。

失敗が続いても家族で笑顔を忘れず前向きに過ごしていたら、少しずつよい出来事が増えてきた。

ア 笑う門には福来る イ 馬の耳に念仏 ウ 二兎を追う者は一兎をも得ず

解答：ア

明るく笑いのある家庭には幸福が訪れるという意味です。

意味確認

問1 意味として正しいものを選びなさい。

「棚からぼたもち」の意味として正しいものはどれですか。

ア 思いがけず幸運が舞い込むこと イ 努力すれば必ず成功すること ウ 高い場所にある物は危険だということ

解答：ア

思いがけない幸運を、苦労せず手にすることを表します。

問2 意味として正しいものを選びなさい。

「井の中の蛙大海を知らず」の意味として正しいものはどれですか。

ア 狭い世界だけを知り、広い世界を知らないこと イ 海について詳しく調べること ウ 知らない場所には行かない方がよいこと

解答：ア

自分の狭い知識や経験だけにとらわれ、広い世界を知らないことを表します。

文中補充

問3 ア〜ウから選んで、空欄に最も合うことわざを書きなさい。

部活動でなかなか結果が出なくても、辛抱強く練習を続けることが大切だ。まさに「_____」である。

ア 石の上にも三年 イ 善は急げ ウ 棚からぼたもち

解答：石の上にも三年

つらくても辛抱強く続ければ、やがて成果につながるという意味です。

問4 ア〜ウから選んで、空欄に最も合うことわざを書きなさい。

趣味や考え方の似た人たちが自然と仲良くなった。この様子は「_____」といえる。

ア 類は友を呼ぶ イ 灯台下暗し ウ 急がば回れ

解答：類は友を呼ぶ

似た性質や好みを持つ人どうしは自然と集まりやすいという意味です。

使い方

問5 使い方として最も適切なものを選びなさい。

「花より団子」の使い方として最も適切なものはどれですか。

ア 景色を楽しむより、そこで食べられる名物料理を楽しみにしている イ 花を育てるために毎日水をやっている

ウ 団子の形を花のように飾り付けている

解答：ア

風流や見た目よりも、実際の利益や実用を重んじることを表します。

問6 使い方として最も適切なものを選びなさい。

「失敗は成功のもと」の考えに最も合うものはどれですか。

ア 間違えた原因を調べ、次の挑戦に生かす イ 一度失敗したことには二度と挑戦しない ウ 失敗したことを隠して忘れる

解答：ア

失敗から原因や改善点を学ぶことで、その経験を次の成功につなげられるという考えです。

総合問題

問7 短文を読んで最も合うことわざを選びなさい。

授業で分からないところがあった陸さんは、恥ずかしくて質問するか迷った。しかし、分からないままにする方が困ると思え、先生に質問した。

ア 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥 イ 猿も木から落ちる ウ 棚からぼたもち

解答：ア

知らないことを質問する恥ずかしさは一時的ですが、聞かずに知らないままにいる方が長く困るという意味です。

問8 短文を読んで最も合うことわざを選びなさい。

卒業する先輩たちは、最後に使った部室をきれいに掃除し、道具を元の場所へ戻してから学校を後にした。この行動に最も合うものはどれですか。

ア 立つ鳥跡を濁さず イ 花より団子 ウ 百聞は一見にしかず

解答：ア

その場を去るときには、後始末をきちんとして見苦しくないようにするという意味です。